

# 野蒜復興新聞



## 野蒜 227世帯 画地決定

東エリア 中央エリア 西エリア 画地決抽選会

野蒜市民センター 3月15、16日 二日間

自身で住宅建設希望世帯の重複89世帯抽選

野蒜北部丘陵地区の入居希望画地抽選会が3月15、16日に野蒜市民センターで実施され、希望する画地が重複していた89世帯が参加し、高台移転を希望するすべての世帯の画地が決定した。抽選会では15日の午前と東部エリアの30世帯、午後と中央エリアの30世帯、16日の午後と西部エリアの29世帯が参加した。重複した世帯の多くは2世帯の重複であったが、一番多く希望が重複した画地では6世帯の画地も存在した。まず始めに市の生活再建支援課より、抽選会の概要と実施の流れについて説明があり、その後順次対象者が抽選棒で抽選の順番を定め、抽選機によって重複世帯の画地が決定していった。

エリアごとにとみると、東部エリア57世帯、中央エリア98世帯、西部エリア65世帯が決定した。また、併用住宅の建築を誘導する特定街区に11世帯が入居する予定である。今後、この移転希望者の画地抽選結果を野蒜地区復興協議会役員会で承認を得て市へ報告し、市から正式な決定通知が発行される予定である。

また、野蒜地区復興協議会の平成26年度の体制や、検討内容についても協議しており、また次第皆さんへお知らせする。



- ①市民センター
- ②交流・メモリアルセンター
- ③観光物産交流センター

野蒜の集団移転先へ整備が検討されている。市民センター、交流メモリアルセンター、観光物産センターの整備方針をとりまとめるため、市民センターの各教室を利用する住民などで2月から3月にかけて3回のワークショップが開催された。現在まで検討してきたのは新野蒜駅舎前の敷地を利用し、この2つの施設をどのように配置すれば利用者が利便し易いか、どのような活用がありえるのか等である。

参加者からは、市民センターと観光物産センターを1つの建物で繋げて合築した方が良い案と、別々に分けて整備した方が良い案の2つの意見がだされた。また野蒜の資源である野蒜石を外壁に利用する案や、野蒜築港等をイメージした建物とするなど、いろいろな意見がだされた。今後はこれらの意見を踏まえ、市の担当課で整備方針をとりまとめ、復興庁と検討していく。



野蒜地区復興協議会の高台移転部会の災害公営住宅希望世帯の役員会を3月13日に鳴瀬庁舎で開催し、情報共有と今後の検討課題等に ついて協議した。野蒜地区の丘陵地帯は計画戸数170戸のなか希望者は戸と希望者全員が同居可能な状況となっており(平成26年3月4日時点)。次回も必要情報共有と今後の検討課題等について役員会で協議し、その後住宅公営住宅を予定している。

## 災害公営住宅 部会開催

## 2014.3.11 お地藏さん建立式典 野蒜長音寺駐車場



3月11日の午前にお地藏さん建立式典が長音寺駐車場で開催された。当日は住民や関係者を含め約100人が集まった。建立式典では、お地藏さんプロジェクト

クトの理事長から、住民のみなさんと関係者の協力もとの建立できたとことや、みなさんの心のよりどころとなれらばと挨拶を頂いた。また参加者の願い事を紙に記載し、ハト風船へ貼付けて飛ばす企画も開催され、みなさんの思いが届いた。お地藏さんという形で復興計画の伴い、地へ移設すること検討されている。

### JR 仙石線 早期開通目指し 造成箇所の工事引き渡し本格化 JIV 共同企業体 → JR 東日本



JIV 事務所によると、ベルトコンベアが1月から稼動し造成工事が急ピッチで進められている。日曜日以外の週6日間、朝7時から夜19時までフル稼働している。早期の宅地完成と共にめざしているJR仙石線の早期開通に向け、造成が完了した部分から順次JRによる工事のための引き渡しを行っていき、今回3月3日に東部エリアのうち軌道部120mの区間がJRに引き渡された。今年6月頃までに野蒜北部丘陵地区内の仙石線用地全てがJRに引き渡される予定である。来年27年内のJR仙石線再開に向け、今後鉄道工事も進捗される予定である。